

午後Ⅱ試験

“論述の対象とするプロジェクトの概要”において、“プロジェクトの規模”や“プロジェクトにおけるあなたの立場”の質問項目で記入した内容が論述とは整合がとれていないなど、本年度も記述内容の不備が目立った。解答を理解するための重要な情報であり、プロジェクトマネージャとしての経験が表現されるので、的確に記述の上、論述してほしい。

各問に共通した点として、問題文中で例として示している工夫や対策などを単に引用しているだけで具体性や説得力に乏しい論述や、設問アで問うている内容を正しく認識しないで解答して設問イ、ウの解答と整合のとれていない論述が目立った。このような論述は、受験者の能力や経験を適切に評価できないので、実際の経験に基づき設問に沿って具体的に論述してほしい。また、誤字、当て字、俗語なども目立った。高度情報処理技術者として、適切な用語を使用し、考えを的確に相手に伝えることは非常に大切であるので、気をつけてほしい。

問 1（システム開発プロジェクトにおけるコストのマネジメントについて）では、コスト見積りの方法、コスト見積りの精度を高めるための工夫、コスト差異を把握するための仕組みについては具体的な記述が多かった。しかし、予算超過を防ぐための対策については、コスト差異を把握した状況を踏まえた具体的な対策の記述を期待したが、記述内容が一般的な論述も見られた。

問 2（システム開発プロジェクトにおける品質確保策について）では、品質目標を阻害する要因と判断した根拠については、具体的な論述が多かった。しかし、品質目標、品質目標の達成を阻害する要因、及び阻害する要因に応じた品質確保策について、論理的に整合しない論述も見られた。また、品質計画についての論述を求めているのにもかかわらず、発生した品質上の問題への対応に終始した論述も見られた。

問 3（システム開発プロジェクトにおける組織要員管理について）では、プロジェクト遂行中に察知した人間的側面の問題と、その問題によって誘発されると想定したプロジェクト目標の達成を阻害するリスク、及び人間的側面の問題への対策についての具体的な論述が多かった。しかし、察知するのではなく、人間的側面の問題を想定した記述や設問アで述べたプロジェクト目標と関係のないリスクの記述も見られた。